

A アートプロジェクトの試行を通じた空き家等の活用

ふりがな	ごうどうがいしゃそうあん
団体名	合同会社 so-an

1. 地域について



団体の活動地域	静岡県東伊豆町稲取地区
地域の特徴	<p>当該物件は、稲取の郷土史にも名を残す「西山五郎」氏の家系が所有する住宅です。西山五郎氏は明治期に稲取村に招請された最初の医師で、当該物件は木造築約 60 年、現職の大工さん曰く当時相当なお金をかけて建てられたであろうお屋敷です。</p> <p>現大家の親が施設入居した関係で管理が難しく取り壊されそうになっていたところ、地域各所から取り壊すには惜しい建築であると弊社代表に活用の可能性がないかと要請があり、現在は賃貸契約を済ませ、活用案を検討しています。</p> <p>稲取のまちなかでは稀な付まいで、暗室や茶室などが居室と織り交ぜられています。</p> <p>弊社は、当該物件活用事業が今後のまちづくりを考える上で非常に重要なプロジェクトだと位置づけています。物件にまつわるエピソードを地域内外の人の手を借りながら紐解き、活用の道を考えていくことが町のさらなる発展に寄与することを確信しているため本事業に応募させていただきました。</p>
地域の現状と課題	<p>家財撤去、庭木の剪定は完了し、物件活用アイデアを練りはじめた段階です。</p> <p>木部が劣化してしまっている箇所があるため、修繕を行っています。</p> <p>上記背景より町にとって貴重な場所である本物件の活用については、建物にまつわる文脈を把握しないまま改修に着手することに抵抗があるため、できる限り現状のまま仮運用を想定しています。</p> <p>課題としては本業に勤しむあまり物件にまつわるエピソード収集などが行えておらず、本事業のお力添えを賜りながらクリエイティブ人材の視点も借りて、地域住民とも一緒に物件にまつわるストーリーを探究していけたらと考えています。</p>

A アートプロジェクトの試行を通じた空き家等の活用

ふりがな	ごうどうがいしゃそうあん
団体名	合同会社 so-an

2. 団体について



<p>団体の活動目的</p>	<p>港町「伊豆稲取」の暮らしを旅する体験を提供する「湊庵（そうあん）」という宿を運営する事業者です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一棟貸しの宿「湊庵 錆御納戸-so-an sabionand-」 ・泊まれる路地裏カフェ「湊庵 赤橙-so-an sekito-」 ・ジオコテージ「so-an morie」 <p>滞在を通して、稲取という地区の魅力を体感してもらうべく「ジオガイド」などを提供しています。また、弊社オリジナル滞在プラン「風待ちステイ」では、ゲストの自分探しのお手伝いをしつつ地域の魅力を一緒に探究していくオーダーメイド型滞InThe提供を始めました。連携施設として、同地区内にシェアキッチン「ダイロクキッチン」、シェアオフィス「EASTDOCK」があり来訪者の多様な滞在ニーズにお応えしています。</p>
<p>本事業を実施することで期待すること、地域への影響</p>	<p>生徒数減少により、稲取中学校の吹奏楽部が再来年度に廃部になることで文化部が0になってしまう等、稲取地区（行政や観光振興団体）における文化的投資が縮小傾向にあります。本事業を通して今一度郷土文化への投資の可能性を地域全体が考え直すきっかけを生み出すとともに、この土地で暮らす人々が郷土文化や一般教養を深めることが可能な機会を恒久的に生み出していくシステムを実装するために必要な要件整理を行います。</p> <p>当該地域に地域外から文化的資本を投入できる人材が滞在可能な受け皿を用意する必要があるため、稲取内で宿泊施設を含む 5 軒のリノベーションしたまちづくり拠点を用いる弊社が、来訪者の滞在先を事業として運用することで持続的な受け入れを可能にし、今後空き家が増加することが予測されている当該地域における、有効な空き家活用手段を見出し、稲取の文化や町並みが良好な状態で維持・更新される契機を作り出します。</p>
<p>本事業終了後の継続的な活動予定</p>	<p>本事業を通して、当該物件の成り立ちを紐解き、物件はもちろん、稲取という地域への理解を深めることで、そのノウハウを今後のまちづくり事業に繁栄させていきます。</p> <p>物件については弊社の運営する他拠点と同様に当該物件の事業的運用をし、地域各所への送客を実現します。</p> <p>昨今、郷土文化への関心を持った大学や高校など教育機関の滞在コーディネートを担う機会も増えてきたので、積極的に該当するコンテンツに対しての投資（本事業協力者の稲岡さんがオープンする郷土文化発信拠点の開発支援や送客、人材紹介等）を行い、郷土文化の継承が恒久的に可能な仕組みを地域団体と連携を深めながら構築していく予定です。</p>

A アートプロジェクトの試行を通じた空き家等の活用

ふりがな	ごうどうがいしゃそうあん
団体名	合同会社 so-an

3. 空き家等について



空き家等の種類	空き家
空き家等の状態	<ul style="list-style-type: none">■水道：利用可能■ガス：利用可能■電気：利用可能■残置物：有り■その他（特記事項）：残置物はほぼ撤去済みですが、少量残っています。
空き家等の利用可能な範囲	<ul style="list-style-type: none">■範囲：全部■期間：2023年1月1日～2027年12月31日■時間帯：8時～17時
空き家等の改変可能な範囲	改変案について大家の了承を得ることができればいかなる改変が可能。 リノベーションすることを前提に賃貸契約をしているため、建物の構造的強度を喪失させるような提案でない限り、概ね了承を得ることが可能。
空き家等の原状復帰	■原状復帰はしなくてもよい